

清友

No. 58

2014年6月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



セイヨウアジサイ

北條会長あいさつ



2年前、高齢でかつ身体の不具合もありましたが、会長の重席を前任者より引き継ぎました。この間、会員を3桁に拡大することを目標に取り組んできました。

一時期大台に達した時もありましたが、今日現在は3桁をわずかに切っております。しかし、一定の目標は達したものと総括しております。勿論、満足はしていません。一層の努力が必要です。

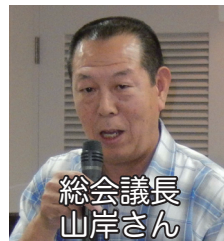
今日の自民党政権の政策により、年金の引き下げ、消費税の8%への引き上げ、憲法の見直し（改悪）など問題は山積しております。それに歯止めをかける役目を私たちは担っていると考えています。

さらなる、皆さんの退職者会への結集とご協力をお願いいたします。

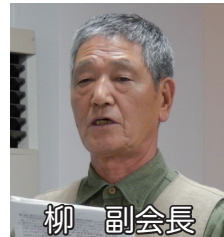
第7回退職者会総会

社会的運動の一翼を担い 更なる組織拡大を目指そう

5月22日、清掃会館地下ホールで第7回定期総会を開催しました。参加者は昨年より少し減って34名（準会員2名）、委任状提出は39名でした。小林事務局次長の司会で開会、昨年の総会以降に亡くなられた4名の会員の冥福を祈り、黙とうを行いました。総会議長に山岸さんを選出し、主催者を代表して北條会



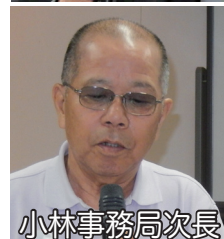
総会議長 山岸さん



柳 副会長



庄司事務局長



小林事務局次長

長が挨拶しました。（別記）
来賓として、東京清掃染書記長が「清掃事業の区移管から15年目を迎え、質の高い公共サービス、住民にとって安全・安心の住環境を保障する責任が関係者に問われている。責任ある清掃事業確立に向けて、立場を超えた幅広い運動を展開していくため、関連団体等との共闘を進めたい。不十分な点はあるが、先輩の皆さんのご協力をお願いしたい。」と挨拶しました。



横浜清掃退 福士会長



都庁退 黒田事務局長



東京清掃 染書記長

第7回退職者会年次総会
東京清掃

堀田新会長が新役員を紹介し挨拶



13名の幹事が先頭に立って退職者会運動に邁進することを誓いました。

新役員

- 会長 堀田 義博 (新)
- 副会長 戸張 寿雄 (再)
- 副会長 柳 章 (再)
- 事務局長 庄司 隆男 (再)
- 事務局次長 小林 正一 (再)
- 会計監査 戸枝 一章 (再)
- 会計監査 岩渕 勝美 (再)
- 会計監査 山岸 治美 (新)
- 幹事 古口 寿一 (再)
- 幹事 馬鳥 宣明 (再)
- 幹事 渡辺 正勝 (再)
- 幹事 吉田 清 (再)
- 幹事 植草 嘉継 (新)
- 顧問 北條 信治 (前会長)
- 顧問 吉田 壽 (東京清掃中央執行委員長)

退連合の黒田事務局長より「清掃退の日常活動と月刊の機関紙発行に敬意を表する。年金制度・医療制度の改悪、憲法改悪、原発再稼働問題など一人ひとりが関心を持って闘いを進める必要がある。都庁退も全力をあげて闘いを進める。」、横浜清掃退職者会の福士会長より「横浜の退職者会活動も仲好し会的な活動から多様化し変革してきた。現役の組織も退職者会に運動を求めてきており、東京の先進



退任した北条前会長

的な活動に刺激を受け横浜もともに活動を進めたい。」との挨拶をいただきました。
総会の議事は、昨年以降の経過を庄司事務局長、会計決算報告を小林事務局次長、会計監査報告を小泉監査が行い、議案は、活動方針案を柳副会長、規約改正案と会費改定検討案を庄司事務局長、旅費支給基準改正案と会計予算案を



退任した小泉前監査

小林事務局次長が提案し、提案内容に基づき今後の運動を強化していくことを確認しました。会費の引上げについては1年かけて討議することになりました。総会に参加した新会員



退任した山崎前幹事

を紹介したのち、庄司事務局長が役員選考委員会の報告と新役員を提案。北條信治会長、小泉英代会計監査、山崎金蔵幹事、会田吉五郎幹事が勇退、新会長に堀田義博さん、新会計監査に山岸治美さん、新幹事に植草嘉継さんを選出し、総会スローガンを確認した後、新旧役員から挨拶をいただきました。北條会長は第3代会長として会員拡大の道筋を本格化していただきました。小泉会計監査は2期4年、山崎幹事と会田幹事は再建以来3期6年、それぞれ会の基礎づくりに貢献していただきました。退任された旧役員のみならず、本当にご苦労様でした。最後に堀田新会長の音頭で団結ガンバローを三唱し、第7回定期総会を終了しました。総会に続き恒例の懇親会。和気あいあいの雰囲気、「これが清掃のいいところ」ですね。



退任した会田前幹事

1000人委員会 戦争をさせない 1000人委員会 Anti-War Committee of 1000 地公退が委員会に参画

戦争への道を突き進む安倍政権の暴走を阻止するために、大江健三郎さんらの呼びかけで「戦争をさせない1000人委員会」が結成されました。「1000人」は多くの人という意味です。

1000人委員会最初のかつ緊急の取り組みとして「戦争をさせない全国署名」が提起され、私たちも取り組みました。署名は短期間にも関わらず45名の方から189筆寄せられました。ご協力ありがとうございました。

地方公務員退職者協議会（地公退）が「1000人委員会」に参画しましたので、今後、1000人委員会が主催する行動に清掃退職者会も積極的に参加していくことになります。

5月31日に、東京ドームボウルで東京清掃ボウリング大会が開催され、退職者会は戸張さん、柳さん、庄司さん、

ゲーム終了後、清掃会館地下ホールに移動し表彰式と懇親会。今年も若い仲間と交流し楽しい時間を過ごすことができました。



東京清掃ボウリング大会 今年も大健闘...?



馬鳥さんが参加しました。各地連など17チーム68名が参加、優勝・第三地連C、準優勝・中野、三位・文京の成績で、今年の退職者会チームは「でき過ぎ」なほど好調、15位と大健闘しました。

退職者会 活動日誌

ウオークの総括意見、旅行の企画案を検討。▼4月25日、小石川後楽園涵徳亭にて建設局退職者会定期総会・懇親会。戸枝会計が参加し交流。▼4月26日、中央メーデー・東京地公労集会に庄司事務局長と戸枝会計が参加。▼5月1日の日比谷メーデーに過去最大の22名参加。集会の模様は本紙5月号。▼5月8日に会計監査。岩淵監査と小泉監査が実施。総会報告のとおり適正な運営との評価。▼5月12日に総会議案書作成。北條会長以下三役中心に7名で対

＊4月22日の第5回幹事会以降6月2日の新年度第1回三役会までの活動記録。
▼4月22日、第5回幹事会終了後企画部会・旅行部会（合同部会）を開催。演芸鑑賞会とお花見
心。東京清掃の印刷機が優れものなので作業はずいぶん楽に。▼5月13日、小石川後楽園涵徳亭にて福祉保健局退職者会定期総会・懇親会。庄司事務局長が参加し交流。▼5月22日、清掃会館にて第7回定期総会。34名参加。北條会長が勇退し、堀田さんが第4代会長に。▼5月23日の狭山事件の再審を求める市民集会に5名参加。集会の模様は別記報告。▼5月31日、東京清掃ボウリング大会。戸張副会長、柳副会長、庄司事務局長、馬鳥幹事が参加。別記報告。▼6月2日、新年度第1回三役会。今後の機関運営のあり方、当面の行事企画の考え方など基本的な課題を検討。三役全員参加。
▼事務局会議・事務業務は7回。総会準備を中心に定例連絡等に対応。



6月3日、JAL客室乗務員71名の整理解雇控訴審で東京高裁は「解雇有効」の判決を下しました。稲森会長(当時)自身「経営上解雇は不要だった」と証言しています。企業側の論理だけを認め、労組潰しを目的とした不当労働行為・不当解雇を擁護する不当な判決に、言葉で言い表せない憤りを感じます。原告団は闘い続ける決意です。私たちも引続き支援していきたいと思ひます。





狭山市で起きた女子高校生殺害事件（狭山事件）で石川一雄さんがえん罪を叫び続けて51年経ちました。不当逮捕された5月23日、日比谷野外音楽堂で「えん罪51年！袴田再審開始に続け！いまこそ証拠開示と事実調べを！」と「狭山事件の再審を求め市民集会」が開かれました。検察が隠し持つ膨大な証拠を開示させ、裁判所に事実調べを行わせることが再審への道を開きます。

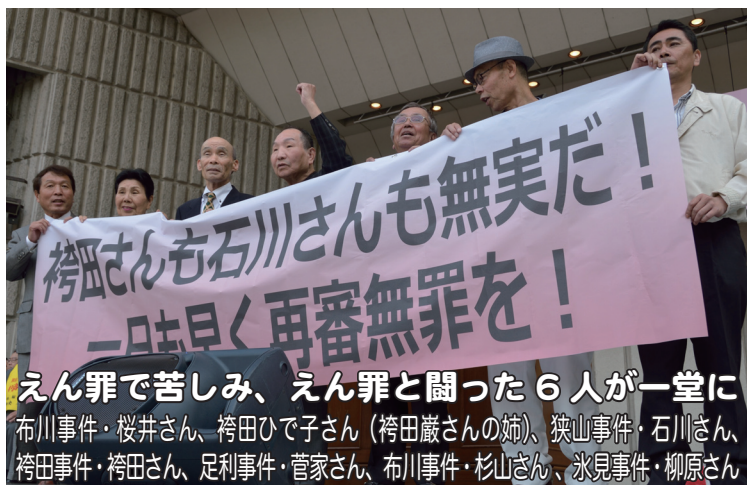
えん罪に苦しみえん罪と闘い続けた足利事件の菅谷さん、布川事件の杉山さんと桜井さ



石川一雄さんと早智子さん

審無罪を勝ち取ろう」と訴え、感動的集会になりました。退職者会は5名参加し、東京清掃の一翼を担いました。狭山事件の早期解決と全てのえん罪をなくすため、これからも頑張りたいと思います。

ん、氷見事件の柳原さん、3月に再審開始決定を受けて即日釈放された袴田厳さんが一同に会し、「次は狭山だ！今年こそ再



えん罪で苦しみ、えん罪と闘った6人が一堂に
布川事件・桜井さん、袴田ひで子さん（袴田巖さんの姉）、狭山事件・石川さん、袴田事件・袴田さん、足利事件・菅家さん、布川事件・杉山さん、氷見事件・柳原さん

労働者の資産＝年金積立金を株価誘導に使うギャンブルは許せない



6月3日、公的年金の定期検診にあたる財政検証結果が公表されました。経済が再生すれば「現役世代の手取り収入の50%以上」の年金水準を維持できるが、最悪のケースでは35%になるとしています。この財政検証結果に基づいて制度の見直し論議が進められることになると考えられますが、当面、①高所得者の年金額調整、②第三号被保険者制度の見直し、③標準報酬上限の見直しなどが検討されることになっています。

年金問題の課題は、制度見直しよりむしろ安倍内閣によるマネーゲームが問題です。安倍内閣は昨年11月、「公的・準公的資金の運用・リスク管理の高度化等に関する有識者会議（会長・伊東隆敏東大院教授）」に厚生年金積立金などの公的資金の運用について、ハイリスク・ハイリターンへの投資比率を高める方向を提言

させ、今年の4月には、厚生年金積立金の運用機関「年金積立金運用独立行政法人（GPIF）」の運用委員長にリスク運用促進派の米沢康博早大教授を起用し、年金積立金で株を買わせ、低迷する株価を引き上げる株価誘導を目論んでいます。

年金積立金は労働者が半分拠出し全額年金に充てられる労働者の資産です。それを労働者に断りなく勝手に株式などのハイリスク・ハイリターンの投資に使うのは断じて許しません。また、政府が市場に介入することで、企業倫理が損なわれ自民党の利害に絡む投資が行われる危険性も高まります。経済政策的にも最悪の手法であり、失敗することは火を見るより明らかです。失敗しても安倍は責任をとらないでしょう。このような暴挙を許す訳にはいきません。STOP安倍の声を！

が、当面、①高所得者の年金額調整、②第三号被保険者制度の見直し、③標準報酬上限の見直しなどが検討されることになっています。

年金問題の課題は、制度見直しよりむしろ安倍内閣によるマネーゲームが問題です。安倍内閣は昨年11月、「公的・準公的資金の運用・リスク管理の高度化等に関する有識者会議（会長・伊東隆敏東大院教授）」に厚生年金積立金などの公的資金の運用について、ハイリスク・ハイリターンへの投資比率を高める方向を提言